

2018年12月18日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

NVIDIA 社製 AI システムの最上位機種を販売開始 NVIDIA 社の「エリートパートナー」としてお客様の AI 導入と活用をサポート

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、略称:CTC)は、米 NVIDIA Corporation(本社:アメリカ合衆国カリフォルニア州、以下:NVIDIA 社*)が提供する既存モデルの 10 倍のディープラーニング性能を実現する AI システムの最上位機種「NVIDIA® DGX-2™」の販売を本日から開始します。ディープラーニング技術を活用して業務の自動化や予測の高度化を図る製造業や情報サービス業、流通業のお客様を中心に提供し、DGX-2 を含めた AI システムの構築や運用サービスと合わせて 3 年間で 40 億円の売上を目指します。

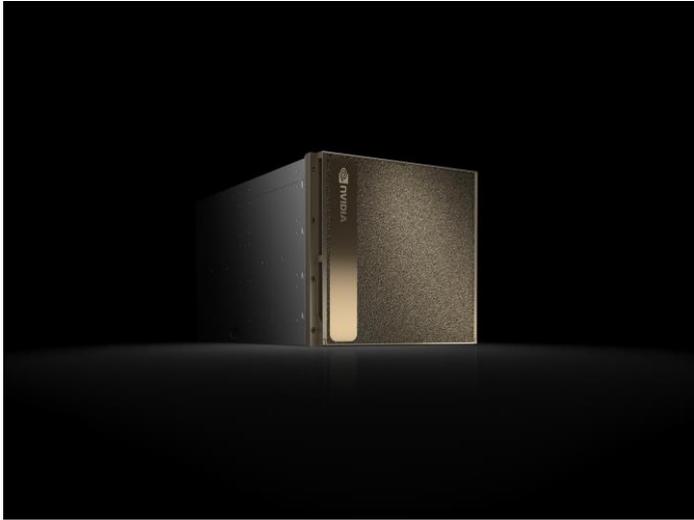
この度 CTC が取り扱いを開始する DGX-2 は、NVIDIA 社が並列コンピューティングやディープラーニングに向けてハードウェアのアーキテクチャを最適化した AI システムの最上位機種です。16 基の GPU「NVIDIA® Tesla® V100」を搭載し、既存モデルの「NVIDIA® DGX-1™」の約 2 倍となる 2 ペタ FLOPS(1 秒間に 2,000 兆回の浮動小数点数演算)の性能を実現します。全ての GPU を相互接続するバススイッチ「NVIDIA NVSwitch™」により GPU 間をつなぐ帯域幅も 24 倍の 2.4TB/秒となり、通信やディープラーニングのソフトウェアも改善してハードとソフト両面の性能向上により学習性能を DGX-1 の 10 倍に向上しています。

多くの企業が業務への AI 適用に本格的に取り組むようになり、大規模な AI 利用の高速化と運用の簡素化が一層求められるようになりました。お客様は、大幅に性能向上した DGX-2 を利用することで、開発・検証環境の準備に時間を費やすことなく、より大容量で複雑なデータの並列処理が高速に行えるようになり、大規模なディープラーニングに取り組むことができます。NVIDIA 社が提供する GPU 対応のクラウドプラットフォームによって、DGX-2 のハードウェアについての状態確認やソフトウェアの最新版への更新なども簡単に行えます。

CTC は、2017 年 9 月から DGX シリーズの提供を開始しており、AI 活用のためのハイブリッドクラウド環境の提供や製造業やサービス業でのディープラーニングシステムの構築などの実績があります。今回、これまでの NVIDIA 社の「エリートパートナー」資格に加え、新たに DGX-2 の販売パートナーである「Advanced Technology Program」のメンバーとなり、既存システムとの連携やフロントエンドの開発などを含め、DGX-2 の導入設計から各種の設定、運用でお客様をサポートします。

今後も CTC は最先端の AI 環境の提供を通じて、お客様の更なる業務効率化やデジタルトランスフォーメーションに貢献していきます。

<NVIDIA DGX-2>



*1 NVIDIA 社は 1999 年に世界で初めて高度な画像処理を行うためのプロセッサである GPU (Graphics Processing Unit)を開発しました。高度な並列演算性能を備えた点が特徴で、2006 年からは、AI(ディープラーニング)や科学シミュレーションにも活用されるようになり、近年の AI の爆発的な進化を支えています。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp